

## 平成21年度京都市公共事業評価の対応方針の策定について

京都市では、平成10年度から、本市の公共事業の実施過程をより透明なものとし、予算等を効率的に執行するため、事業の各段階（事前、事中、事後）において評価を実施しています。事業着手後、一定期間経過した公共事業について、その進捗状況や社会情勢の変化を踏まえた「再評価」と、事業完了後の事業効果の確認を行い必要に応じて改善措置を検討する「事後評価」について、学識経験者等で構成する「京都市公共事業評価委員会」の意見を聴いたうえで本市の対応方針を定め、その結果を公表しています。

このたび、平成21年度における対応方針を下記のとおり策定しましたので、お知らせします。

## 記

## 1 再評価

種別	補単	事業名	対応方針
街路事業	補	向日町上鳥羽線（第一工区）	「事業継続」
街路事業	単	葛野西通	「事業継続」
街路事業	補	大原通	「工事完了」 事業効果の検証に努める
道路事業	単	宝が池通	「事業継続」
道路事業	補	一般国道162号（川東拡幅）	「事業継続」
道路事業	補	一般国道477号（大布施拡幅）	「事業継続」
道路事業	補	（主）大山崎大枝線（沓掛工区）	委員会の意見に従い 「事業継続」
河川事業	補	旧安祥寺川	「事業継続」
河川事業	補	新川	「事業継続」
土地区画整理事業	単	洛北第二地区	「事業継続」
合計		10事業	

\* 「補」は国庫補助事業、「単」は京都市単独事業を示す。

## 2 事後評価

種別	補単	事業名	対応方針
鉄道事業	補	高速鉄道東西線醍醐・六地藏間建設事業	「今後の事後評価、改善措置とも不要である」
合計		1事業	

\* 「補」は国庫補助事業、「単」は京都市単独事業を示す。

(参考)

## ■資料の公開について

別添の「平成21年度京都市公共事業評価 対応方針」は、2月18日から総合企画局情報化推進室情報公開コーナーにおいて閲覧できます。

# 京都市公共事業評価委員会委員名簿

(任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日)

敬称略・五十音順

氏名	役職等
あらかわ あけみ 荒川 朱美	京都造形芸術大学環境デザイン学科教授
○ いわさき よしかず 岩崎 義一	大阪工業大学工学部 都市デザイン工学科教授
かわうら あきひこ 川浦 昭彦	同志社大学大学院 総合政策科学研究科教授
◎ こばやし きよし 小林 潔司	京都大学経営管理大学院教授 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授
さえき ひさこ 佐伯 久子	京都市地域女性連合会副会長
すとう ようこ 須藤 陽子	立命館大学法学部法学科教授
つかもと まり 塚本 真理	京都商工会議所女性会
とくら りょういち 十倉 良一	京都新聞社論説委員長

◎：委員長 ○：副委員長